

① 人間生活学研究科（食物）2023年度

② 入試区分

人間生活学研究科博士前期課程（Ⅱ期）

③ 出題科目

英語

④ 出題の意図

大学院博士前期課程においてアレルギーに関する研究を希望する志願者であったため、食物アレルギーに関してピーナッツアレルギーが経皮的に感作されるという最新の知見に関する英文を出題した。出題意図として、一次情報を英語論文から得ることができるかを見るための出題であった。

番号 _____ 名前 _____

I. 次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

（この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。）

*Filaggrin: フィラグリン、皮膚バリアータンパク質の一種

問1. 食物アレルギーのリスクの高いのはどのような人かを記せ。

問2. ピーナッツアレルギーが皮膚を通して感作されると推定される理由を記せ。

問3. 下線部の英文を翻訳しなさい。

番号_____名前_____

Ⅱ. 次の文章のうち、1つを和訳しなさい。

（この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。）

番号_____名前_____

I. 次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

（この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。）

*Filaggrin: フィラグリン、皮膚バリアータンパク質の一種

問1. 食物アレルギーのリスクの高いのはどのような人かを記せ。

すでにアトピー性の疾患を持っている人のうち、家族にアトピー性疾患を持っている人がいる
場合、特に食物アレルギーを起こしやすい。

問2. ピーナッツアレルギーが皮膚を通して感作されると推定される理由を記せ。

フィラグリン遺伝子の機能喪失変異がある場合には、アトピー性皮膚炎の有無にかかわらず
ピーナッツアレルギーを起こしやすいため。

問3. 下線部の英文を翻訳しなさい。

フィラグリン遺伝子に変異のある人は乳児期に食品特異的 IgE を作りやすい傾向があるが、
すでに感作されている子供の場合には必ずしも臨床的にアレルギーを起こしやすいわけではな
い。

番号_____名前_____

Ⅱ. 次の文章のうち、1つを和訳しなさい。

（この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。）

